

第1回久御山町環境審議会について

記

- 1 日 時 令和5年4月25日(火) 午前10時～午後12時00分
- 2 場 所 久御山町役場5階 コンベンションホール
- 3 出席者 委 員：8名
事 務 局：8名
- 4 内 容
 - 1 開 会
 - 2 委嘱書の交付
 - 3 町長あいさつ
 - 4 久御山町環境審議会の設置について
・会長の互選及び職務代理者の指名
 - 5 久御山町環境基本条例について
 - 6 諮問事項
(1) 久御山町環境基本計画(久御山町地球温暖化対策実行計画「区域施策編」
含む)の策定について
 - 7 閉 会

議事要旨

次第4 久御山町環境審議会設置について

【資料1】【久御山町環境審議会設置要綱】

- ・会長の互選及び職務代理者の指名

(説明概要) 事務局より説明

- ・資料1及び久御山町環境審議会設置要綱により、久御山町環境審議会設置の趣旨、設置に関する事項、設置要綱等について説明。
 - ・令和5年度の審議会スケジュールについて説明。
- (主な意見・質疑応答)・・・特になし
(会長・職務代理者選出)
- ・委員の互選により、会長1名を選任。
 - ・会長より、職務代理者1名を指名。

次第5 久御山町環境基本条例について 【資料2】

(説明概要) 事務局より説明

- ・資料2により久御山町環境基本条例の概要、構成、趣旨等を説明。
- (主な意見・質疑応答)・・・特になし

次第6 諮問事項

(1) 久御山町環境基本計画(久御山町地球温暖化対策実行計画「区域施策編」含む)の策定について【資料3、4、5、6】

(説明概要) 事務局より説明

- ・現在策定中の環境基本計画について、資料3、4により策定の趣旨や目的、背景、位置付け等説明。
- ・資料5により目指すべき将来像の実現に向けた取組について説明。
- ・資料6は次回の策定委員会での検討事項となっており、次回以降の審議会で報告することを説明。
- ・諮問事項について、基本計画をより実効性の高いものとするために、審議会で意見をもらうことを説明。また、計画策定委員会での協議結果等を随時、当審議会で報告、説明を行い、計画に関する答申を行い、その答申内容を計画に反映して令和5年8月から9月を目処に完成するという今後の流れを説明。

(主な意見・質疑応答)

(会長)

- ・諮問については、策定委員会が出た計画に関する意見等をこの審議会で調査、審議してさらに改善していくということでよいか。

⇒(事務局)

- ・そのような流れで行う予定である。

(委員)

- ・計画策定委員会と環境審議会の関係がどのようになっているのか、改めてご説明いただきたい。

⇒ **(事務局)**

- ・審議会と並行して策定委員会を開催し、そこで詳細を協議し、ご意見をいただきながら具体的な部分を詰めていく。そして全体の計画を策定していくという流れ。策定委員会には具体的な意見をいただくために、利害関係者である、町内事業者が委員として入っており、詳細の詰めを策定委員会でいただき、全体的に見てその内容で大丈夫なのかを審議会で調査等しながら最終的に会長から答申をいただく。また、計画策定後は、進行管理と評価を審議会で行い、その後、計画の改定を行う際には改めて答申をいただくこととなる。

(会長)

- ・先ほどスケジュールの説明があったが、3回目の審議会で答申するということは、実質あと2回の会議しかないのでタイトな進め方となるが、その辺りをもう少し補足説明をいただきたい。

⇒ **(事務局)**

- ・本日第1回目は計画についての諮問をさせていただき、2回目では計画の骨子案について6・7章も含めて全体的な話ができるので、それに関するご意見をいただく。3回目では全体を振り返って、答申をいただくという流れで考えている。

(委員)

- ・基本計画と実行計画との2本立てで、ボリュームがかなりあるので、資料は事前にいただきたい。

⇒ **(事務局)**

- ・資料の準備が遅れたことについてお詫び申し上げます。おっしゃるとおりなので、次回以降は事前に準備させていただく。

(委員)

- ・立派な計画を作るのは大切だが、それをしっかり実現できるしくみ作りが重要。他の自治体で策定に携わった経験から、絵に描いた餅にならないように進行管理もしっかりしていただきたいと考える。

⇒ **(事務局)**

- ・計画策定後は、条例や計画を知ってもらうための環境政策プロモーション事業を展開していくことを予定している。
- ・要綱で定めているように計画の大きな項目ごとに外部の方も招いた部会の設置を予定しており、そこで意見交換を行い、審議会にも随時報告していく。

(委員)

- ・審議会の目標は、諮問内容を総括的に認めるのか、それとも個々に策定委員会から諮問事項が上がってくることもあるのか。

⇒ **(事務局)**

- ・審議会を作るのではなく、大きな観点で評価し、策定委員会での内容そのものに対するご意見をいただく場であり、細かいところは策定委員会で行う。

(会長)

- ・策定委員会に入っていない委員の方のために、資料に補足コメント等があれば分かりやすいと思う。

⇒ **(事務局)**

- ・より分かりやすい資料にできるようにする。

(委員)

- ・紙パック6枚でトイレットペーパー1個ができるとテレビで見たが、このような住民目線で具体例を挙げていただくと、より分かりやすく、条例第16条の環境の保全等に関する教育及び学習等の内容にも通じると思う。
- ・6月5日の環境の日には町として何かイベント等を考えているのか。

⇒ (事務局)

- ・資料5の第5章で具体的な取組を挙げているが、まだ完成形ではないので、ここに具体例を記載していく予定としている。
- ・6月5日の環境の日にはシンポジウムを開催する予定で、内容は有識者の講演や町長を交えてのトークディスカッションを考えている。

(委員)

- ・資料6の12ページの目標値と基準年は積み上げ方式による計算結果なのか。
- ・久御山町と国や府とはエネルギーの利用状況や、太陽光発電の導入ポテンシャル等が違うので、久御山町が目標達成するためにどういう施策に力点を置くのか示すことが重要で、どのような人たちがどのような行動をとっていけばいいのかを示せば施策を進めやすいと思う。

⇒ (事務局)

- ・46%削減という数値は、国と府の数値と整合をとるため設定しており、積み上げによる計算はしていない。
- ・資料6が温暖化対策の区域施策編となっており、14ページでは省エネ行動の推進、16ページでは高効率な省エネ機器、ZEB、ZEH化等、建物の省エネ性能向上等、17ページでは太陽光発電の導入促進等でそれぞれ目標達成に向けた行動を示しており、これから詳細を詰めていきたい。

(委員)

- ・私はある2つの自治体で環境基本計画、温暖化防止計画、再エネ導入計画の策定に関わったが、目標数値について片方は精緻な計算をしており、もう片方は国の数値に合わせていた。積み上げによる計算をすればかなり時間がかかり、久御山町のスケジュールでは到底間に合わないので、必ずしも積み上げが良いとは思わないが、住民や事業者にとって、どういう取組をすれば、どのくらい効果が出るかというようなことが分かるような計画となれば良いと考える。

⇒ (事務局)

- ・今出していただいた意見を参考にして、計画の策定を進めていきたい。

(委員)

- ・ある企業の委員さんは策定委員会で、環境問題に真摯に取り組まないと生き残っていけないから、色々なことをやっていますと発表されていたが、計画の中に久御山町はシビックプライドを掛けて、価値観の転換等これだけのことをやりますという背中を押すような文言が第4章辺りにあれば良いと思うので、もう少し踏み込んで、少くくはみ出した計画となっても良いのではないかと考える。

(会長)

- ・先ほどの委員の発言を補足をさせていただくと、日本の現状はヨーロッパと比べると残念ながら周回遅れとなっているので、世界標準に合わせるという意味では、相当な責務をもって取り組む必要があると思う。また、色んな自

治体の審議会等に出て感じるのは、民間の方が積極的に環境問題に取り組んでおり、そうでないと仕事にならない等まさに生き残りを掛けているので、しかるべき情勢に合わせた方向に答申できれば良いと考える。

⇒ (事務局)

- ・どのようにすれば住民、企業等にやる気になってもらえるか、環境教育等含めて積極的にこちらから仕掛けていけるように考えていきたい。

委員意見まとめ

- ・計画を作ったあとに、それを実行できるしくみ作りが重要。そのために進行管理をしっかりと行ってほしい。
- ・策定委員会に入っていない委員のために、資料に補足コメント等があれば分かりやすい。
- ・紙パック6枚でトイレトペーパー1個ができる等、住民目線での具体例を挙げていただくと、より取組を実施しやすく、条例第16条の環境の保全等に関する教育及び学習等の内容にも通じる。
- ・久御山町は、国や府と比較してエネルギーの利用状況や、太陽光発電の導入ポテンシャル等が違うので、町が目標達成するためにどういう施策に力点を置くのか示すことが重要で、どのような人たちがどのような行動をとっていかればいいのかを示せれば施策を進めやすい。
- ・目標数値について、時間がかかるため、必ずしも積み上げ方式による計算が必要とは思わないが、住民や事業者にとって、どういう取組をすれば、どのくらい効果が出るかというようなことが分かるような計画となれば良い。
- ・シビックプライドを掛けて、価値観の転換等背中を押すような文言が第4章辺りにあれば良いと思うので、もう少し踏み込んで、至少くはみ出した計画となっても良いのではないかと思う。
- ・環境についての取組について、日本の現状はヨーロッパと比べると残念ながら周回遅れとなっているため、世界標準に合わせるような答申を出せばと思う。

以上